

## 令和6年度第2回大府市環境審議会 議事録

日時：令和6年12月16日（月）

午後1時から午後2時

会場：大府市役所 会議室 001～002

＜委員出席者＞ 14名（敬称略）

千頭聡（日本福祉大学国際学部特任教授）、西村和子（大府市教育委員会教育委員）、村瀬由理（大東小学校再任用・教諭）、高井 賢治（愛知県知多県民事務所環境保全課長）、深谷剛寿、（区長会長）、倉元須麻子（大府市地域婦人団体連絡協議会長）、稲葉きみ子（あいち知多農業協同組合）、間瀬計行（大府商工会議所事務局長）、小椋和美（大府市環境パートナーシップ）、坂野好子（バンノ自動車商会代表）、深谷多恵子（株式会社みどりや）、近藤隆幸（株式会社豊田自動織機安全・総務部環境室室長）、相木徹（オオブユニティ株式会社代表取締役）、長畠典子（環境美化推進員）

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

・会長あいさつ

### 3. 議題

- (1) 第3次大府市環境基本計画の見直し改定版（案）に伴う大府市環境審議会委員のご意見及びパブリックコメントの結果報告と本審議会の答申案について

【資料1-1、1-2】

【事務局】資料に基づいて説明

【委員】農業を営むためにやむを得ないものとして行われる野焼きについて、より良い地域環境を目指していくにはどうすれば良いか。

【事務局】野焼きについては2つの側面があると考えている。1つ目はプラスチック類等のごみの焼却について、焼却によって有害物質が発生する恐れがあるため、しっかりと指導する必要がある。2つ目は農作業に伴う野焼きや日常軽微な野焼き等について、焼却行為自体は原則禁止されているが、農作業に伴う野焼きや日常軽微な野焼き等は例外的に認められている。ただし、近隣に迷惑が掛からないように配慮する必要があるため、課題解決に向けては地域住民同士の相互理解も重要な要素であると考えている。

#### 4. 第3次大府市環境基本計画の中間見直しについて（答申）

- ・会長から市長に答申を実施
- ・市長あいさつ

#### 5. 報告事項

（1）第3次大府市環境基本計画の見直し改定版の概要について【資料2-1、2-2】

【事務局】資料に基づいて説明

【委員】第3次大府市環境基本計画の23ページの「個人や家庭でできる取組アイデア」の欄に、市内でダンボールコンポストの講座も実施しているので、「ダンボールコンポスト」という文言を計画に盛り込んでほしい。

【事務局】検討する。

【委員】第3次大府市環境基本計画の30ページにおいて、市全体で50%の削減目標が設定されているが、部門別目標はどのように設定されているか

【事務局】2ページに記載している国の部門別削減目標に準じて設定している。

（2）第2期大府市バイオマス産業都市構想の概要について【資料3】

【事務局】資料に基づいて説明

【委員】生ごみバイオガス発電施設の原料である廃棄物について、産廃系の廃棄物の中身が変わってきている。今後の廃棄物の状況に注視して物量の在り方等を見直しする必要があると考えられる。

【委員】他地域で行われている事例を調査研究し、循環するシステム構築を進めてほしい。

#### 6. その他

- ・第3回大府市環境審議会について、令和7年3月11日の14時開催を予定している。